ガンマ線バースト(GRB)などの突発天体に対する、明野MITSuME 50cm可視望遠鏡による即時観測は順調に行われており、今年度は約30回のGRB追観測を実施した。空き時間を利用し、X線連星や活動銀河核のモニター観測も継続している。また重力波天体の可視フォローアップ観測に備え、世界中の望遠鏡と連携した観測体制や解析の準備が整いつつある。